

鎌ヶ谷市 郷土資料館 だより 第53号

目次

- 新資料展示『新発見！鎌ヶ谷のたからもの』を開催 …………… 1～2
- 郷土資料館セミナー「東葛地域の近世」受講者募集 …………… 3
- 史料整理の現場から②／資料館
これからの予定事業 …………… 4

新資料展示を開催 10/24～1/31

新発見！鎌ヶ谷のたからもの

～文化財に親しもう～

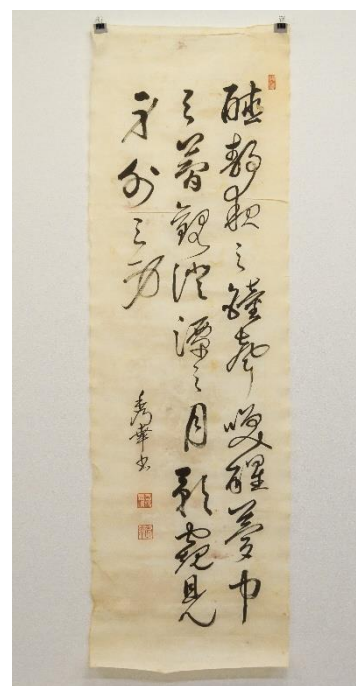
毎年11月1日から7日の1週間は「文化財保護強調週間」です。この週間に合わせ文化財に親しむことを目的に、全国で様々な催しが行われます。鎌ヶ谷市でもこの一環として、令和元年度に市内の遺跡で発掘・調査した埋蔵文化財と、郷土資料館が新たに発見・整理した歴史・民俗資料や所蔵者から寄贈していただいた資料の中から、主なものを紹介する「新資料展示」を開催します。いずれも初めて公開するものばかりです。ぜひこの機会に、新しく仲間入りすることとなった「鎌ヶ谷のたからもの」をご覧ください。

本市初の国登録有形文化財も紹介

今回の展示内容を少し紹介します。まず「歴史資料」では、中沢の旧家から寄贈していただ



国登録有形文化財の「澁谷家住宅」



高橋是清の書(個人蔵)

いた多数の史料の中から、明治・大正・昭和の地域の歴史を語る絵図・公的文書・軍事郵便などを展示します。

「民俗資料」では、市内の各家で保存され寄贈いただいた祭礼用法被^{はっぴ}・前掛け・手ぬぐい・徳利^{とくり}などの民具や御札^おなどを展示します。

また「埋蔵文化財」では木戸脇貝塚(中沢)、向山No.1遺跡(初富)、南後山No.1遺跡(佐津間)、丸山遺跡(鎌ヶ谷)お



「徳利」

(2ページに続く)

(1ページからの続き)

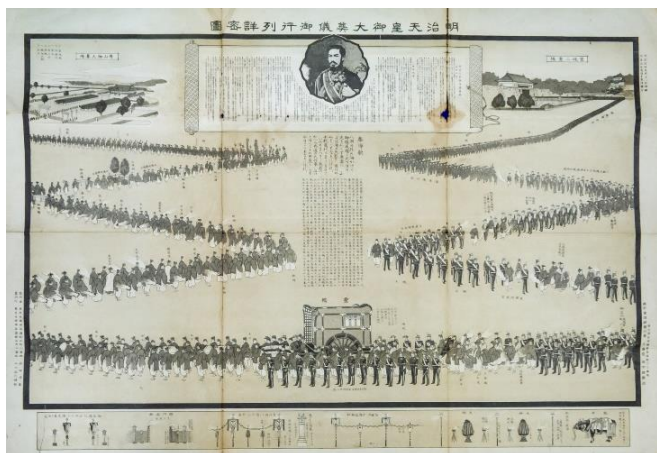
よび鎌ヶ谷5丁目に所在する野馬土手などから出土した遺物と遺跡の写真パネルを展示します。

さらに、今年8月に鎌ヶ谷市で初めて国登録有形文化財となった「澁谷家住宅」と「丸屋」についても紹介します。

会期 10月24日(土)～1月31日(日)の午前9

時～午後5時。ただし、毎週月曜日と11月3日(火)・24日(火)、12月29日(火)～1月3日(日)、1月12日(火)は休館です。

会場 郷土資料館2階 展示室



明治天皇御大葬儀御行列詳密図

新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルス感染防止のため、来館時にはマスクの着用と受付での入館者票への記入をお願いします。また、来館者が多い場合は入場制限を行う場合もあります。最新の情報は市ホームページ、または郷土資料館☎445-1030へお問い合わせください。

なお、今回の展示ではギャラリートークは実施しません。あらかじめご了承ください。

郷土資料館この一品⑫

勢子 笠(せこがさ)

今回ご紹介する「勢子笠」は、常設展示室奥にある「捕込」の模型とともに国史跡「下野牧跡」に関連する資料です。

勢子笠は、牧場で年に一度行われた「野馬捕り」などで、「勢子」として周辺の村々から集められた人々がかぶっていたものです。野馬捕りは、半野生状態で放牧されていた馬を捕込に追い込み、捕獲・選別したものです。その様子は、『成田名所図会』の中の「下野牧野馬執の図」にも描かれています。

この勢子笠は、二つとも中沢の旧家(明治初年には組頭も務めたこともある家柄)に残されていたものです。一つは竹で骨組みを作り、紙を重ねて張り合わせています。表面が黒くなっていますが、こうした笠は柿渋で仕上げられることも多いようです。なお、破れた箇所には文字が見られ、下地には古文書の反故



勢子笠(右:通年用、左:夏用)

紙が使われたようです。もう一つは竹ひごで編んだもので、暑い時期に使用されたものと思われます。

小金牧では將軍の鹿狩りが4度行われ、その際には万単位の勢子が動員され、竹棒と縄を持って獲物を追い込んだようです。嘉永の鹿狩りでは、勢子たちが將軍を口々に「親玉ア！」などとはやし立てたという記録もあり、お祭のような雰囲気もあったことが伝わっています。展示しているこの笠は、どんな場面でかぶられていたのでしょうか。

郷土資料館セミナーを開催

テーマは「東葛地域の近世」

郷土資料館セミナーを5回シリーズで開催します。今回は「東葛地域の近世」にスポットをあて、歴史をひもといていきます。

江戸時代の東葛地域はどんな感じだった？ 小金牧とは？ 東葛地域の中で鎌ヶ谷を捉え直したとき、どの様なことが分かるのでしょうか？ みなさんの知的好奇心を満たすこと請け合いの歴史探求講座です。講師は県内をフィールドに活躍している研究者の方々。最新の研究成果を交えてお話しいただけます。地域の歴史についてちょっと詳しく知ってみませんか？

対象 市内在住・在勤・在学の方

日程・内容・講師

- ① 11月8日(日)「資料から探る御鹿狩り」・富澤達三さん(松戸市立博物館学芸員)
- ② 11月22日(日)「近世後期鎌ヶ谷の教育～手習塾「安川舎」の場合～」・竹中友亮さん(千葉歴史学会)
- ③ 12月10日(木)「流山にある中野牧関連資料(仮)」・上条静香さん(流山市立博物館学芸員)
- ④ 12月17日(木)「東葛地域の馬牧場『小金牧』」・金澤真嗣さん(馬の博物館学芸員)
- ⑤ 12月24日(木)「船橋の資料から浮かび上がる鎌ヶ谷の近世」・小田真裕さん(船橋市郷土資料館学芸員)

時間 いずれの回も午後2時～4時

会場 生涯学習推進センター(まなびいプラザ) 3階研修室

定員 25名(応募者多数の場合は抽選)

申し込み 10月31日(土)までに郷土資料館

☎445-1030 (FAX: 443-4502) へ

その他

- ◎新型コロナウイルスの蔓延状況により、セミナーの開催を中止する場合があります。ご承知おきください。



昨年度の郷土資料館セミナーの様子

◎新型コロナウイルス蔓延防止のため、当日はマスクを着用し、受付で検温・手指消毒を行ってください。また、次の方は受付済みであっても当日の入場をお断りさせていただきます。ご了承ください。

- ①37.5℃以上の熱がある方。また、咳やだるさ、息苦しさなどの症状がある方。
- ②一緒に暮らしている人に発熱や風邪の諸症状が認められる方。
- ③過去2週間以内に海外の新型コロナウイルス流行地へ赴いた方。
- ④過去2週間以内に、新型コロナウイルス感染者と濃厚接触の可能性があった方。

◇ご覧ください！

郷土資料館のホームページ

郷土資料館のホームページでは、現在「郷土資料館って何をするとところ？」というシリーズを掲載中です。このシリーズで取り上げたテーマをいくつかご紹介すると、「鎌ヶ谷が市になった日の看板」、「鎌ヶ谷宿の旅籠で使われていた道具」、「100年前のパンデミック『スペイン風邪』の史料(1)～(3)」、「銃後の鎌ヶ谷(1)・(2)」、「関東大震災『97年前の相模トラフ巨大地震』の史料(1)・(2)」などです。

なお、郷土資料館のホームページへは、鎌ヶ谷市のホームページから「施設案内」→「郷土資料館」→「郷土資料館からのお知らせ」へとお進みください。

【史料整理の現場から②】

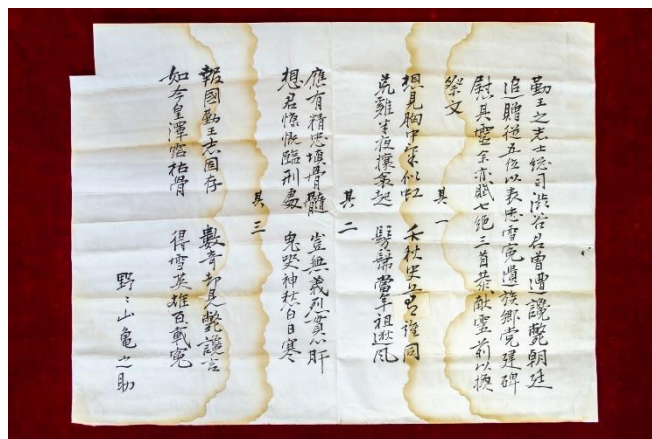
地道な調査がつなぐ歴史の断片

前号でご紹介した、芳野金陵(よしのきんりょう)の書が発見された鎌ヶ谷地区の旧家には、所蔵家代々の蔵書であった、近世～昭和期の書籍や雑誌などの刊行物が多数残されていました。その中には、かつて同家当主であり在野の漢文学研究者・漢詩人でもあった野々山亀之助(ののやまかめのすけ)の蔵書なども含まれています。

その経歴を史料によってたどってみると、明治18年(1885)から26年にかけて漢学塾二松學舎(現二松學舎大学)に学び、同舎創設者である三島中洲(みしまちゅうしゅう)に就いて漢文学を研究し、塾生の監督や教師も務めています。その傍ら東京専門学校(現早稲田大学)行政科の課程を卒業し、明治28年には有朋義塾(明治27年日本メソジスト教会によって甲府市内に設立された教育機関、同42年廃止)に招かれ漢文学教師となり、同義塾の文芸誌『峡中文壇』(明治30年創刊)では「星孫」の号で主筆を務めていたことがわかります。

同家が所蔵する書画の掛軸の中には、前記三島中洲の書も三幅確認されており、うち一幅は明治28年秋、星孫が有朋義塾の招きに応じ教師として赴任する際に贈られたものです。なお、中洲はその翌年に東宮侍講となり、以降晩年まで大正天皇に近侍し、漢学の進講(特に漢詩の指導)にあたりました。

その後、亀之助は明治35年に病気のため帰郷して以降は、専ら経史(儒教の経典である経書や歴史書)・詩文を研究する日々を送り、漢詩人として広く名が知られる機会は少なかったかと思われます。しかし、昭和4年(1929)3月に鎌ヶ谷村宝泉院で行われた渋谷総司贈従五位報告祭・建碑除幕式の際には、慰霊の七言絶句三



渋谷総司の霊前に献上した七言絶句の原稿首を霊前に献上しています。贈られた漢詩の原本が渋谷家(佐津間)に伝存していますが、一方、作成者の側においても、清書され折りたたまれた原稿が残されており、昭和4年から90年の歳月を経て再び披かれることとなりました。

限られた史料の中では伝存の経緯がわからないことも多いなか、たとえ断片的な事象であっても、調査・整理の過程で点と線がつながっていくことで、地域の歴史の新たな一面が知られ、より深く歴史を学ぶことができるのではないかと思います。

◇ 郷土資料館 ◇

これからの実施予定事業

【展示】

- ・令和3年3月～5月頃 第23回ミニ展示
「小金牧と鎌ヶ谷」(仮)

【講座】

- ・3月 「春の自然観察会」、「歴史講演会Ⅰ」
- ・4月 「歴史講演会Ⅱ」

※詳細な日程・内容については現在調整中です。決まり次第、広報等でお知らせします。
※展示・講座とも、新型コロナウイルスの蔓延状況により中止となる場合があります。
※講座については例年に比べ大幅に人数を絞った開催になります。

鎌ヶ谷市郷土資料館だより 第53号 令和2年10月15日発行 編集・発行：鎌ヶ谷市郷土資料館

住所：〒273-0124 鎌ヶ谷市中央1-8-31 Tel：047-445-1030 Fax：047-443-4502

メール：kyodo@city.kamagaya.chiba.jp

ウェブサイト：http://www2.city.kamagaya.chiba.jp/sisetsu/kyoudo_2/index.html